

ひかり

2022年6月号



日本聖公会 三光教会

第704号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

Trinity

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

「私について来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を負って、私に従いなさい。自分の命を救おうとする者はそれを失い、私のために命を失う者はそれを救うのである。」

(ルカによる福音書9:18-24)

アナニア
—使徒9…10…19

司祭 アモス金 キム 大原 デウオン

道の案内人

イスラムの神秘主義のことを「スーフイズム (sufism)」と言います。その集団をアラビア語で「タリカ (Tariqa)」と言います。その意味は「道」です。ところで、この道は誰でもすぐに歩ける道路を意味するものではありません。タリカは砂漠の中でオアシスから他のオアシスにつながる道のことを指します。ですから、それは道とは言えない道であるわけです。風が吹くたびに砂が動き、他人の歩いた足跡を消してしまうのが砂漠です。砂漠を通る人にとつてオアシスは命でしょう。オアシスを見つげるためにはその道に詳しい案内人が必要になります。すなわち案内人とはすでに道に慣れているどこに罫があり危険が隠されているかを知っている人なのです。

初期キリスト教の歴史において使徒たちは「この道に従う者」(使徒9:2)と呼ばれていまし

た。聖徒というのはイエスを道にして人生の道を歩む人なのです。皆さまはその道をよく歩んでいるのでしょうか。たまに私たちは人生の旅路の中で道に迷う時があります。人生は選択であり決断です。分かれ道に会うたびに行くべき道を確認して、ついに一つの道を選びなければなりません。判断に迷う時もあるでしょう。そのような時には誰かに案内してもらおう必要があります。

ダマスコのユダの家に泊まっていたサウルの場合がそうでした。数日前までも彼にとつて生きることははっきりしていて、行くべき道もまた明らかでありました。ユダヤ教に対する特別な情熱にとられていた青年のサウル、彼は十字架の上で釘打たれて処刑されたイエスという男をメシアやキリストと告白する連中を赦すことができませんでした。それで、ある日、彼は大祭司長の公文書を持ってキリスト者たちを逮捕し、エルサレムまで連行するためにダマスコの方へ向かいました。

ダマスコに近づいた時、突然に天からの不思議な光に遭遇することになりました。その光は復活

されたイエスでした。イエスとサウルの出会いは本当に神秘的なものでした。その後、サウルの目には何も見えませんでした。大変な意気込みで取りかかったサウルでしたが、誰かに頼らずには歩くことすらできない悲惨な境遇にまで落ちぶれたのです。全く予想もしなかった人生の逆転でした。徹底的に無力になり、今まで誇りに思っていたすべてのことが無駄になる経験でした。有名な律法の教師ガマリエルから教わったというプライド、フアリサイ派の中のフアリサイ派として生きてきたというプライド、ローマ市民権を持つているというプライドがすべて無意味になったのです。それこそ人生の土台が崩れる経験、だつたと言えるでしょう。はっきり知っていると思っていた道がいきなり消え去り、混沌に陥つたのです。まさにこれがパウロの一時的な失明体験の内的な意味かもしれませんが、彼には道の案内人が必要になつたわけです。

(次号に続く)

6月～8月の予定

- ◆6月
 - 12日(日) 三位一体主日
 - 聖霊降臨後第1主日
 - 14日(火) 主教教会博士バジル
 - 16日(木) 聖餐感謝日
 - 19日(日) 聖霊降臨後第2主日
 - 22日(水) 殉教者オルバン
 - 24日(金) 洗礼者聖ヨハネ誕生日
 - 26日(日) 聖霊降臨後第3主日
 - 28日(火) 殉教者主教イレナエウス
 - 29日(水) 使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日
- ◆7月
 - 3日(日) 聖霊降臨後第4主日
 - 4日(月) 7月逝去者記念礼拝
 - 10日(日) 聖霊降臨後第5主日
 - 11日(月) 修院長ベネディクト
 - 17日(日) 聖霊降臨後第8主日
 - 22日(金) マグダラの聖マリヤ日
 - 24日(日) 聖霊降臨後第7主日
 - 25日(月) 使徒聖ヤコブ日
 - 26日(火) おとめ聖マリヤの母アンナ
 - 31日(日) 聖霊降臨後第8主日
- ◆8月
 - 1日(月) 8月逝去者記念礼拝
 - 6日(土) 主イエス変容の日
 - 7日(日) 聖霊降臨後第9主日
 - 8日(月) 司祭修道士ドミニコ

いま、日本聖公会で
おきこころしい
— 教区を再編する —

コロナ禍で、教会に集まり礼拝を献げることができない日々が続きましたが、そのような状況下でも日本聖公会は未来に向けて大きな組織改革が始まっています。具体的には、いま東京教区は隣の北関東教区と一つの教区になることを目指して協議を始めていますが、高橋宏幸主教の指名により、協働チームの末席に名を連ねることになった者として、この大きな改革についてご紹介させていただきます。

① 日本聖公会を

3つの宣教協働区に

今回は2021年3月25日(金)にゼルバベル広田勝一北関東教区主教(当時)とフランシスコ・ザビエル高橋宏幸東京教区主教、および両教区の常置委員会から出されたメッセージ「北関東教区・東京教区 これからの歩みに向けて」をご紹介します。

* *
日本聖公会は、2020年10月27日から29日にかけて開催された第65回(定期)総会において2つの大きな議案を可決しました。

一つは、日本聖公会を、東日本、中日本、西日本の3つの宣教協働区に分け、各協働区内に設置される協働委員会で区内の運営、宣教・牧会などについて協働を推進し、教区再編について検討するというもの。もう一つは日本聖公会の再編に向けて、教区が主教を置かずに、管理主教のもとで、他教区との合併等の再編を目指す「伝道教区」となることができることとしたことです。

② 北関東教区と

東京教区の協働

教区再編を実現するという、日本聖公会の固い決意が確認された、この総会決議を受け、北関東教区では、2020年11月23日に開催された第87回(定期)教区会において、日本聖公会の未来を見据え、伝道教区となることを決議しました。そして2021年3月6日に開催された、日本聖公会第66回(臨時)総会における承認

を経て、北関東教区では、高橋宏幸管理主教のもと、2021年4月1日から、伝道教区として新たな歩みを始めることになりました。東日本宣教協働区内にあっては、2月1日(2020年)の第1回協働委員会にて、北海道・東北・北関東・東京の各教区で2つの分科会を設置し、具体的な協働の可能性を検討し始めています。また、ことに、地理的にも歴史的にも関係の深い北関東教区と東京教区は、北関東教区の伝道教区への移行を機に、2月22日に常置委員長間の会合、また3月15日に合同常置委員会を開催し、新しい教区の新設に向けてともに取り組んでいくことを確認しました。今後

③ 新たな協働に向かつて

両教区は、様々な草の根の交流、相互理解、あらゆる分野における協力を継続しながら、5年後に新しい教区を新設するという目標を目指し協働していくこととなります。

教区再編は、長年にわたり協議されながら実現することがなかった大きな課題です。しかし今、私たちは、新たな旅立ちを促され

北関東・東京教区共通資料



2022年2月1日発行(全26ページ)

北関東教区と東京教区の成り立ちとこれからをわかりやすく説明した冊子 The Spirit of Missions を聖堂入口に置いてありますので、ぜひご覧ください。

た神の約束を信じ、主の導きにより頼みながら、新しい教区の未来をともに創造していくために、両教区の信徒・教役者が共に出会い、共に祈り、共に参与しつつ、この協働の歩みを始めていきたいと願っています。皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

(記・藤田新一郎)



教区合同堅信式が3年ぶりに6月4日(土)聖アンデレ主教座聖堂で執り行なわれました。三光教会からは5名の方(総勢17名)が高橋宏幸主教からお祈りいただきました。

6月4日(土)
東京教区の合同堅信式
行なわれる



教区主教と三光教会の堅信受領者5名

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。(休止中)

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、
毎朝6:30の早祷に引き続いて
聖餐式

日本聖公会 三光教会 教会報「ひかり」 2022年6月号(第704号)

発行者：司祭 金 大原 編集・印刷：三光教会広報委員会